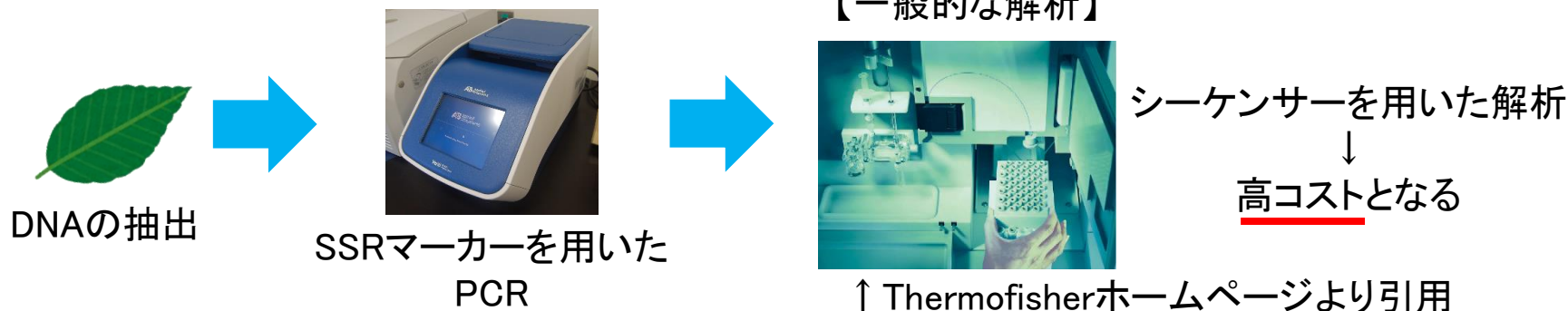


交雑個体における 雄性不稔性識別マーカーの有効性検討【2】

かんきつの新品種作出に重要となる種無しの形質は花粉量の多少によって左右されると考えられるが、現在の育種手法では開花するまで識別することが不可能である。育成初期から種無し系統を選抜するために検討しているSSRマーカーでは、シーケンサーを利用する必要がありコストが高いことから、アガロースゲルを用いた識別が可能か確認した。

SSRマーカーを用いた識別の流れ



アガロースゲル電気泳動を用いた識別

